



## 健康増進について



未来の会  
今関

恒  
議員

健康保健事業での人間ドッグの受診数と受診率はどうか。

**問** 健康保健事業での人間ドッグの受診数と受診率はどうか。

**答** 市民部長 平成26年度は699人、受診率4・1%で年々微増

しています。人間ドッグ受診への助成制度はどうか。

**問** 人間ドッグ受診への助成制度はどうか。

**答** 市民部長 助成金額の上限が5万円、助成割合は8割となっております

います。

**問** 近隣市町の助成の状況はどうか。

**答** 市民部長 東金市は限度額5万円で助成割合7割、九十九里町は限度額3万円で助成割合7割です。

**問** PET検査やCT検査、他のオプション検査も対象か。

**答** 市民部長 本市指定の検査8項目を実施したら脳ドックも含め助成の対象となります。

**問** 現在と今後の周知方法はどうか。

**答** 市民部長 各個人の被保険者にパンフレットを直接送付しています。また広報紙やホームページ

ムページにも掲載しています。今後も周知活動を継続します。

**問** 私は人間ドッグの周知度を高めるために市民活動として健康セミナーを開催しているが、健康意識を高めるために市民協働での工夫をしたらどうか。

**答** 市民部長 関係課との連携を更に強化して事業運営に努めます。



## 財政運営について

**問** 合併10年を迎えるが、東日本大震災の影響は新市建設計画についてはどうであったか。

**答** 財政課長 前期基本計画においては6割程度の目標を達成しました。現在後期基本計画

に取り組んでおり、概ね順調な状況ですが、東日本大震災の影響で公共施設の統合整備がやや遅れています。

**問** 市町村の合併に伴う事業で使える特例債の活用はどうか。

**答** 財政課長 平成21年度までで地域振興基金として約26億円借入れし、平成27年度までで、普通建設事業として約72億円となります。山武の交流センター・松尾にぎわい空間創出事業・教育施設の耐震化・こども園等に活用しました。

**問** 日本創成会議の推計によると消滅都市の可能性が本市は64%だった。自主財源が少なく財政規模が大きい中で190億円の身の丈予算はどうなっているか。

**答** 財政課長 合併特例債の償還金の増加や東日本大震災の復興事業の影響等で財政規模は縮小できないのが現状です。

**問** 歳出の削減が進まない状況で将来の財政運営はどう考えているか。

**答** 財政課長 人口減少で歳入全般も減少していくと見込んでいます。歳出は少子高齢化による社会保障経費増で義務的経費の負担増加が見込まれます。

**問** 財政状況が厳しい中で身の丈予算はいつ頃までに出来るのか。

**答** 財政課長 新市建設計画の見直しに合わせ財政計画も進めていますが、合併算定終了のこの5年間で言うことは非常に厳しいです。施設の統廃合等行政改革を積極的に推進し身の丈予算に合った財政規模を目指します。

**問** 本市の市税徴収率が県内ワースト5位と新聞掲載されたがどう受止めたか。

**答** 市長 故郷を誇りに持たたいので非常に残念です。

**問** 市税徴収改善に向けての取組みはどうか。

**答** 市民部長 市税徴収率向上対策として現年課税分の納期内納付を徹底し新規滞納者の発生防止に努めます。